

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 みつばち		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		~ 2024年 12月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		~ 2025年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちや保護者様が安心してご利用されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・共感的に理解し、ご意向にそった支援を行っている。 ・将来を見据えて、今必要だと思う支援内容をご提案し、計画書やプログラムに入れている。 ・写真や動画で様子をお伝えしながら共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング以外でも、共に計画を見返す機会を設け、ご家庭や各関係機関と足並みを合わせて支援をしていく。
2	本人支援だけでなく、移行支援や家族支援も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域を取り入れて、多面的な支援を行っている。 ・ペアレントデーの実施や父母会活動の支援を行い、保護者同士の交流や情報交換の場を提供している。 ・個別相談については、事業所内相談支援を行っている。 ・幼稚園やデイへの移行の際は、引継ぎ書を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数を増やして欲しいとのご要望があるが、日々の支援とのバランスを見ながら、検討していく。

3	活動プログラムが固定しないようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当制、交代制を取り入れて、全体ミーティングで協議し活動内容を決定している。 ・クッキングや季節行事を行ったり、公園や防災プラザ等地域の社会資源も活用している。 ・放課後等デイサービスはちのじとも交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が出来るように、検討していく。
---	-----------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自立支援協議会に、参加が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターの研修を受ける機会や助言を頂く機会がなく、積極的な参加が出来ていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容の研修があるのか、情報収集しながら必要に応じて参加できる体制を整えていく。
2	年間計画に基づいて、定期的に避難訓練を行っている。様々な内容で、発生を想定した訓練を行っているが、保護者に周知されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用回数の少ない児童は、避難訓練に参加できる機会も少なく、活動報告や詳細をお伝えすることが出来ていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用日になっている方には、活動の様子を写真で伝え、連絡帳にも記載しているが、全体へ向けてSNS等を通して発信し、共有できるようにしていく。
3	児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を、可能な限りで持っているが、保護者に周知されていない。	同上	同上

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援 みつばち

公表日 2025年1月7日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		1日10名様まで受け入れている。 療育室・活動部屋・クールダウン部屋・園庭があり十分なスペースが確保できている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	85%	15%	2対1で関わる事が出来ている。場面によってはマンツーマンの関わりが必要であり、人員不足を感じる時もある。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		完全バリアフリーではないが、スロープや手すりを付けており、最大限の配慮をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		日々の生活を気持ちよく過ごせるよう、清潔を保っている。温度調整や換気にも配慮している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		別室対応が出来る環境・人員配置ができています。	
業	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		全スタッフの意見交換が出来るよう、閉所日に全体ミーティングを行い、業務改善や支援内容の確認・モニタリング等を行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		ミーティングの議題にあげ、改善に努めている。	

8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		日々の振り返りや、ケース会議を行い、個別支援計画書にそった支援が行えているか、スタッフで共通理解・改善を行っている。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		指導を受け、業務改善を行っている。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部のズーム研修を受講したり、事業所内でケース会議や事例研究を行っている。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		毎日の連絡帳で支援プログラム・内容を公表している。行事の案内は別紙プリントを配布している。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		可能な限り、行っている。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		可能な限り、行っている。 意見交換を行いながら、情報共有し共通理解を深めている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		可能な限り出来ている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		可能な限り出来ている。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		五領域を踏まえた支援内容を設定して言う。連絡帳をやり取りして、情報収集や伝達をし、保護者同士の情報共有をする機会を設けながら家族支援を行っている。幼稚園入園やデイへの移行は、引き継ぎ書を作成し伝達を行っている。	

切
な
支
援
の
提
供

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		当番制で、月案や週案の立案を行い、全体でミーティングを行い、見直した上で、活動プログラムを立てている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		SST・LSTに限らずクッキングや季節の行事を行っている。公園・スーパー・防災センター等、地域の社会資源も活用している。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		午前中は個別支援（机上学習）、午後からは集団活動を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		可能な限り行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85%	15%	送迎後に、直帰する場合もあり、支援終了時に全員そろふ事は難しいが、伝達ノートを作成し共有を行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		利用児1人ひとりに、評価ノートを作成し、支援の検証・改善を行っている。発達段階の記録や気付き等も記録している。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		ミーティングを通して、スタッフ間でモニタリングを定期的に行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		偏りがないうよう、可能な限り組み合わせている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		可能な限り行っている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		はい、そうしている。	

27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	保育所等の関係機関とは連携できている。	持病のある児童に対して、主治医との連携は取れていないが、保護者を通して情報収集を行い、支援方法を整えている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		行えている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	—	—		
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—	—		
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	連携をとりながら、必要に応じて助言を頂き支援に繋げている。	研修を受ける機会がなかったが、今後は検討していきたい。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		放課後等デイサービス「はちのじ」と一緒に行事や活動を行い交流を持っている。地域の児童館イベントにも参加させて頂いている。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		機会があれば、参加させて頂く。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時に直接話をしたり、活動の様子などを写真や動画に撮って、SNSを通して伝えたりしながら共通理解を深めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		家族が参加できる行事を企画できている。対応力向上や足並みを合わせた支援を行っていく為に、個別に面談を行うケースもある。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		行っている。	

37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		行っている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		保護者の同意を得てから支援を行っている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		面談、電話、送迎時にお会いしたタイミングなど、それぞれの話やすいタイミングに合わせて行っている。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		父母の会は、定期的で開催しており好評いただいている。保護者同士の情報交換や、悩みなどを共有したりいい時間を持っている。	兄弟同士が交流する機会は設けていない。必要に応じて検討していく。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		行っている。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		日々の様子は、個々に写真を添付してお知らせしたり、Instagramを使って、事業所の活動や情報提供を行っている。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		行っている。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		可能な限り行っている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	地域行事には、参加させて頂いている。	行事を企画・運営・準備などに費やす時間が持っていない。必要に応じて検討していく。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		それぞれのマニュアル作成をし、スタッフ間で周知している。避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		地震・火災・水害・不審者にそなえ、年間計画を立てて、避難訓練を実施している。ハザードマップを作成している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		外部研修に参加し、ミーティングで周知している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約書に記載しているが対象児童はいない。		